

【八千代医療センター看護局 継続教育】

段階		レベルⅠ		レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
経験年数		新人(1年目)	2～3年目	4～5年目	6～7年目	8年目以上
期待される能力		専門職業人としての役割を理解しマニュアルに沿って指導を受けながら看護実践能力を身につける	自らが自立し、主体的に看護が実践でき自分の役割がわかる	看護実践のロールモデルとなり、自分の役割が取れる	専門性を発揮し、職場のあるゆるる場面において主体的に自律性のある行動ができる	職場の問題を捕らえ、チーム医療がスムーズに行くように調整できる
到達目標	自己開発	看護に必要な基礎的な知識を身につけ、職場に適應できる	自己の目標を見つけ課題に取り組むことができる	専門職として自分の進む方向生が考えられる(臨床・研究・教育・管理)	リソースを活用して問題解決ができる	自己のキャリア形成における目標を見いだすことができ自己研鑽できる
	看護実践	日常生活のための基本的技術・態度を身につけ、指導の基にケアを安全、確実に実施できる	受け持ち患者のケアを通して看護の知識・技術が深られ個別ケア実施できる	急性期病院における看護過程を創意工夫したケアが実施できる	患者の問題を解決するために医療チームを活用し効果的な患者・家族ケアができる	役割モデルとして創造的な看護実践を展開できる
	コミュニケーション	コミュニケーションの基本がわかり意図に情報収集できる	患者・家族・他の医療チームと良好なコミュニケーションができる	患者・家族の問題を調整するために医療チームと積極的なコミュニケーションをとり良い人間関係を築くことができる	コミュニケーションスキルを向上させることができる	地域医療でのコミュニケーションがとれ良い人間関係が築くことができる
	チーム活動	固定チームナーシングの看護方式がわかりチームの一員としての自覚をもち行動できる	チームの一員としてメンバーシップが取れる	状況に応じたリーダーシップが発揮できる	チームの意見を吸い上げ問題解決に取り組むことができる	チームを支援し変化させることができる
	看護研究	日常看護の中で問題意識をもち、疑問点を明らかにできる	研究に関心をもち、研究の場に参加できる	研究に取り組み、その成果を発表できる	専門分野の研究について、メンバーを指導しながら研究を進めることができる	積極的に研究を行いながら自己の研究キャリアを積み重ねていくことができる
継続教育		1. 入職オリエンテーション 2. 看護実践3ヶ月 3. 看護実践8ヶ月 4. 新人看護技術研修 5. 医療安全 6. NANDA看護診断の基礎編	1. リーダーシップⅠ 2. プリセプター勉強会  (トピックス) PONRの書き方(公開講座) 看護者の倫理綱領について	1. リーダーシップⅡ 2. 実践看護研究 3. NANDA看護診断事例検討	1. リーダーシップⅢ	1. 看護管理研修